



さまざまな模様仕上がった自信作を披露する参加者

7/23 藍の葉っぱで染めたよ

夏休み親子体験教室「藍の葉っぱで染めよう」が広見公民館ゆとりピアで開催され、市内在住の親子 12 組 30 人が参加しました。

環境について楽しく学んでもらおうと毎年市が主催しているもので、講師の堀部すみゑさんの指導により、参加者は、藍の生葉をミキサーにかけた液でハンカチやランチョンマットなどを染めました。また、藍の生葉を布の間に挟んで、金づちで叩いて染める「叩き染め」も体験しました。

7/31 後片付けまでしっかり

夏休み親子料理教室が 7 月 24 日から 8 月 27 日まで公民館など市内 11 カ所で行われ、たくさんの親子が参加しました。この教室は、楽しく食生活を学んでもらおうと市食生活改善推進協議会の主催で行っています。

この日、平牧公民館で行われた教室に参加した子どもたちは、玉ねぎのみじん切りに涙しながら、盛り付け、後片付けなどを行いました。



夏野菜のスープなどを作る参加者



原爆による悲惨な写真を見る人たち

8/10~15 パネルを通して平和の尊さを

広島と長崎に投下された原爆が、人間にどんな危害を与えたのかをパネルで説明する「原爆と人間展」が、広見公民館ゆとりピアで開催されました。

今年で 6 回目となるこの展示は、原爆による被害に焦点を当てた写真や被爆者による絵画など約 40 枚のパネルで構成されました。

主催した岐阜県原爆被爆者の会の河原賢三可茂支部長は、「戦争を体験していない世代の人に、この展示会を通じて平和の大切さを学んでもらえたら」と語られました。

8/13 ものづくりの楽しさを体験

中恵土公民館でものづくり教室が開催され、19 組 42 人の親子が参加しました。

この教室は子どもたちにもものづくりの楽しさを学んでもらおうと、社団法人発明協会岐阜県支部可児支会が開催し、今年で 3 回目になります。

NPO 法人生涯学習かのにの皆さんの指導を受け、参加した親子は、板磁石で作る「バタバタとんぼ」、糸電話と摩擦を応用した「共鳴ガエル」、空気抵抗を利用した「飛行リング」を製作しました。



楽しく飛行リングを作る親子